

H.15.11.28(金)朝日

# 国際教養大来春に開校

## 文科省認可 焦点は学生確保

国際教養大学が27日、文科省に認可された。県内4番目の4年制大学が来春、開学する。経営難に陥った旧ミネソタ州立大秋田校を、県立4年制大学とする転換策が示されてから4年余り。県議会の反発で開学が1年延期したが、28日から来年度入試に関する募集要項が配布され、12月には推薦入学などの出願が始まる。

### 高校側 志望校すでに決定

認可後は、学生の確保――28日から配布される募集要項は県外を中心に約

430件の予約がある。今秋、東京や仙台であつた説明会には100~120人が集まつた。9月の業者模試(全国)で約千人が第1~第8志望で同大を選び、うち8割が第1志望に集中した。

県内はどうか。県教委が高校教育課は9月、県内の各高校に志望者数を尋ねた。結果は、37の高校で第1志望や併願を含め

110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。

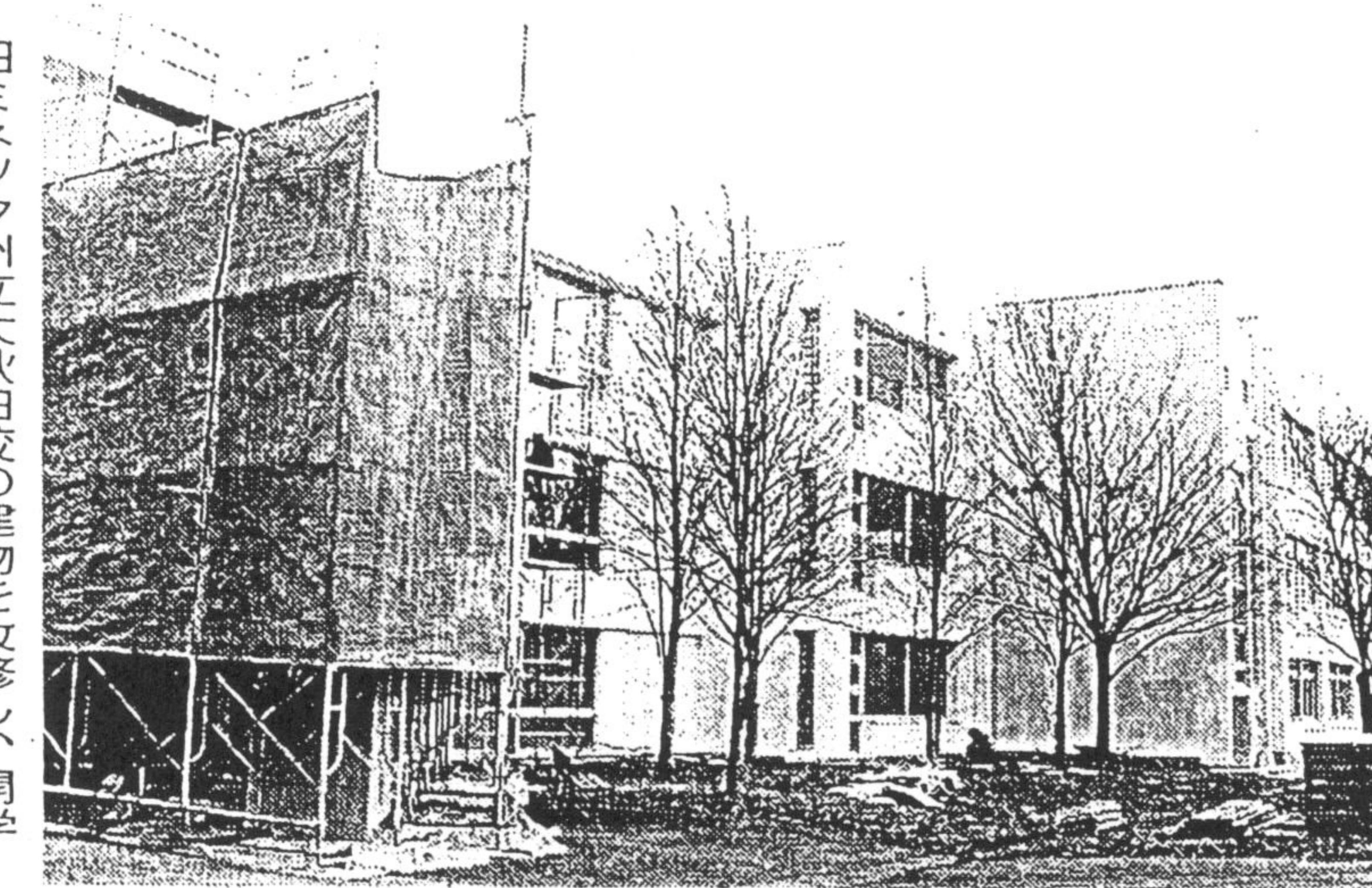
110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。

110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。

110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。

110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。

110~120人だつたという。同大設置準備事務局は「控えめに見て、一般選抜(定員70人)で県内外で千人の志願はある」といふ。



旧ミネソタ州立大秋田校の建物を改修し、開学への準備が進められている。雄和町奥椿岱で

国際教養大学 04年度開学の4年制単科大学で、雄和町の旧ミネソタ州立大秋田校キャンパスが所在地。1学年100人で、実学重視の少人数教育を掲げ。専任教員の6割が外国籍で、授業はすべて英語。1年次は全員寮生活を送り、授業で英語集中課程を受ける。3年次から「グローバル・ビジネス課程」

#### ■ キーワード

と、北米か中国の地域研究に携わる「グローバル・スタディズ課程」に分かれ。学生は全員1年以上の海外留学が義務付けられ、卒業時には英語で実務が可能なTOEFL600点以上の取得能力を身につけさせられる。開学時から公立大の独立法人第1号を目指す。学長は中嶋龍雄・前東京外語大学長。

### 知事 財政問題、企業に期待

99年秋に「県立の国際系4年制大学」との方針が出て以来、県議会の大手派・自民は強く反発した。関連事業予算案は減額修正され、当初03年度だった開学が1年延期になるなど、計画自体が

暗礁に乗り上げたこともある。それだけに寺田典城知事が記者会見で「大学のあり方自体に踏み込んだので、すべてが不安だつた。文科省との打ち合わ

せも相当したが、ほとんど規制なくできた。議会の提起も枝葉のことが多くなつたが、新しい大学をつくる榮華になつた」と振り返り、「田舎でもこういう価値のある大学ができるんだということを示したい」と意気込んだ。

同大は開学当初から独立行政法人化を目指すが、初年度は県から実質約7億円余りの財政出動が見込まれている。この点について知事は「優秀な学生が育成できるなら企業からの支援金もくるようなので、その点も力

る」と強調だ。

背景には、来年度入試だけの「特例」がある。

公立大は本来、大学入試センター試験に参加する。だが申込規定の関係で、同大は来年度だけ参加しない。公立であります

が、他の国公立大と併願できる。国公立志向の強い県内では「受験機会が増える」と同大の併願

一方、第1志望の生徒が6人だつた県中央部の進学校の教諭は「もっと多いと思っていた」と拍子抜けしている。「レベルが分からず、第1志望にしにくいのが本音」

県南部のある進学校では第1志望は1、2人。

また、県出身者の入学が100人中の10人程度では少ない。3割は県

民に入つてもらいたい」と話した。